

兵庫県立津名高等学校

同窓会阪神支部報

第20号
発行所神戸市灘区鶴甲2-11-4-402
小久保澄夫内津名高校同窓会阪神支部
TEL & FAX
(078) 842-0425印刷所：共栄印刷株式会社
TEL (078) 341-0316あの日は
阪神・淡路大震災をふりかえる

天災は忘れた頃にやってくるとは寺田寅彦の有名な諺だが、昨今の自然現象は忘れなくともすぐやってくるのかも知れない。4年前の3・11大災害など数え上げればキリがないが、万一同じような事態になれば災害を体験した方の話も少しは役に立つかもとの思いで同窓の3名に記憶を辿ってもらいました。

野島断層の保存と
活用について(北淡震災記念公園)
活用について(株)ほくだん 代表取締役
宮本 肇

(高四回生)

平成七年一月十七日午前五時四十六分、明石海峡付近を震源とする兵庫県南部地震が発生した。この地震は典型的な都市直下型地震で、神戸市や阪神地域及び淡路島北部を中心に、阪神・淡路大震災と呼ばれる戦後最大の甚大な被害をもたらした。

当時の北淡町(現淡路市)は、淡路島の北西端に位置した農業・漁業を主な産業とする町だが、兵庫県南部地震発生により海岸部では震度七を記録し、三十九名の死者が確認された。この地震は典型的な都市直下型地震で、神戸市や阪神地域及び淡路島北部を中心に、阪神・淡路大震災と呼ばれる戦後最大の甚大な被害をもたらした。

鳥の北西端に位置した農業・漁業を主な産業とする町だが、兵庫県南部地震発生により海岸部では震度七を記録し、三十九名の死者が確認された。この地震は典型的な都市直下型地震で、神戸市や阪神地域及び淡路島北部を中心に、阪神・淡路大震災と呼ばれる戦後最大の甚大な被害をもたらした。

四回生)・当時」が同時期に保存の方向性を発表した。ようやく少し落ち着いた。三月ごろ、町として具体的に天然記念物として保存する方向性を検討し始めた。地震直後から国、兵庫県とにも野島断層の保存に積極的にご指導・ご助力いただき、未指定物件にもかかわらず、平成七年四月から八年度にかけて野島断層保存検討委員会(松田時彦熊本大学教授・当時)を設置し、野島断層の調査および保存地点・保存方法等の検討いただき、天然記念物指定申請を行うよう報告があった。その結果として地震後三年半経過した平成十年七月三十一日に官報告示され、天然記念物として指定された。

この天然記念物である野島断層を積極的に活用し、多くの人が断層や地震・防災について学ぶことができる学習施設として、また、阪神・淡路大震災を風化させず後世に語り継ぐためのメモリアル施設として、平成十年四月二日に北淡町震災記念公園が完成し、総面積三四ヘクタールの公園の中に断層を保存する野島断層保存館、断層のすぐそばにありながら壊れなかつた民家を保存・公開するメモリアルハウスや震災のモニュメント、学校団体の事前学習や資料保管の施設としてのセミナーハウス、地震を体験し学習する地震体験館あり、平成十年年度には二八二万人の方々がこの施設を訪れ平成二十七年年度末までに八七〇万人が来館されました。

あの兵庫県南部地震発生から二十二年を迎え、体験した私たちにとって「地震のないところ」と何の根拠もなく思っていた淡

は忘れることのできない出来事だが、震災の記憶は風化しつつあります。今振り返ると野島断層を保存・活用していくことは阪神・淡路大震災を体験し、震源地の町といわれた北淡町としてやはりやぶきことの一つだったのだと思います。当時、私は北淡町企画振興課長として野島断層の保存・活用の仕事に携わっており、今年三月末まで淡路市役所を定年退職し、四月より北淡震災記念公園を管理運営する第三セクター(株)ほくだんの代表取締役として再び野島断層の保存・活用の仕事に就きました。阪神・淡路大震災を風化させず後世に「あの日を忘れない」のこ

を忘れることのできない出来事だが、震災の記憶は風化しつつあります。今振り返ると野島断層を保存・活用していくことは阪神・淡路大震災を体験し、震源地の町といわれた北淡町としてやはりやぶきことの一つだったのだと思います。当時、私は北淡町企画振興課長として野島断層の保存・活用の仕事に携わっており、今年三月末まで淡路市役所を定年退職し、四月より北淡震災記念公園を管理運営する第三セクター(株)ほくだんの代表取締役として再び野島断層の保存・活用の仕事に就きました。阪神・淡路大震災を風化させず後世に「あの日を忘れない」のこ

を忘れることのできない出来事だが、震災の記憶は風化しつつあります。今振り返ると野島断層を保存・活用していくことは阪神・淡路大震災を体験し、震源地の町といわれた北淡町としてやはりやぶきことの一つだったのだと思います。当時、私は北淡町企画振興課長として野島断層の保存・活用の仕事に携わっており、今年三月末まで淡路市役所を定年退職し、四月より北淡震災記念公園を管理運営する第三セクター(株)ほくだんの代表取締役として再び野島断層の保存・活用の仕事に就きました。阪神・淡路大震災を風化させず後世に「あの日を忘れない」のこ

を忘れることのできない出来事だが、震災の記憶は風化しつつあります。今振り返ると野島断層を保存・活用していくことは阪神・淡路大震災を体験し、震源地の町といわれた北淡町としてやはりやぶきことの一つだったのだと思います。当時、私は北淡町企画振興課長として野島断層の保存・活用の仕事に携わっており、今年三月末まで淡路市役所を定年退職し、四月より北淡震災記念公園を管理運営する第三セクター(株)ほくだんの代表取締役として再び野島断層の保存・活用の仕事に就きました。阪神・淡路大震災を風化させず後世に「あの日を忘れない」のこ

地震の語りべとして
米山 正幸

(高三五回生)

「地震のないところ」と何の根拠もなく思っていた淡路島北部を兵庫県南部地震が襲った。二十年前(平成七

年一月十七日)に起こった阪神・淡路大震災だ。震度七、マグニチュード七・三の直下型地震だった。北淡町(現淡路市)では、昨日までの町並みが、一瞬にして瓦礫の山と化していた。地元消防団員であった私は二か月の娘と女房を避難所の小学校に避難させ救出活動に入った。学生からお年寄りまでが協力して救出活動を行なった。田舎であつたため、昔からの近所づきあい、地域コミュニティが役立ち、生き埋めになつていた約三〇〇人を全員救出することができた。当日の正午過ぎには全員救出。夕方五時過ぎには行方不明者ゼロを発表することができた。しかし、三十九名の尊い命が、住宅の倒壊や家具の転倒等により、窒息死・圧死等で亡くなった。救出活動はもろのこ、その後の見回り、救済物資の配布、避難所の運営等、大変だったことを覚えて

自然というのは人間の力ではどうすることもできない大きな力を持つている。予測もできない大きな災害に遭ったときに、ただたどろろとしたらとか、なすがまま傍観者になつてしまつてはダメだ。日頃の備えをしつかりしておいて、どういう順序でどういうことをやつたらいいかを身につけておく必要があると思う。

地震の数か月後、当時の北淡町長であつた小久保さんが言われた言葉がある。

おもわず笑顔になる

高田 佐登美

代表 高田 佐登美

〒656-1606
(淡路島) 兵庫県淡路市室津2428
TEL/0799-84-0078
FAX/0799-84-1691
http://www.esake-takata.com
E-mail/info@esake-takata.com
淡路島の風 高田さとのほろ酔い酒

宝と花琳

株式会社 薫寿堂

代表取締役 福永 稔

※工場見学 お香づくり体験もあります。お問合せを

〒656-1601 淡路市多賀二二五五一

TEL 〇七九八五二二〇二(代)

FAX 〇七九八五二二〇二(代)

URL http://www.kunido.co.jp

E-mail awaji@kunido.co.jp

国指定 天然記念物 野島断層
北淡震災記念公園

開館時間 9:00~17:00

淡路市小倉177

TEL 0799-82-3020

HP http://www.nojima-danso.co.jp

野島断層保存館

震災体験館

メモリアルハウス

セミナーハウス

ショップほくだん

フードコートさくら

阪神・淡路大震災から学び
大地震に備えよう!



い命、かけがえのない犠牲を無駄にだけはしてほしくない。被災した者の、生き残った者の務めとして伝えたいかなければならないと思う。

地震の三年後（平成十年四月二日）に「震災を語り、伝える」施設として北淡震災記念公園野島断層保存館はオープンした。そして、その一年後に「震災の語りべ」事業が始まった。それ以来、子供から大人まで命の大切さ、備えの大切さを語り、各人が自分の体験をもとに語っている。私もその一人だ。

五年位前に、関東の中学生に語りべをした後、感想を言ってもらった。その時「僕たちは震災を体験してい

ないので語りべにはなれませんが」と言われた。私はそれは違うと言った。人間一人の体験は一つである。語りべもそれ以外のことを話すときは、見たこと、聞いたこと、調べたことを話している。体験していないくても、被災者に真実を聞き、調べ、学ぶことで語りべになれると思う。

災害はこれから起きるだろう。でも、犠牲者を生まないように、悲しむ人が出ないように、少しでも減らせるように、「自分の命は自分で守る」「自分たちの地域は地域で守る」この意識を一人でも多くの方に持つていただきたい。願いを、夢を、次世代に託します。

私の一・一七ドキュメント

田中 種義
(高十三回生)

一月十五日
▼娘の成人の祝い
を自宅で、夕方車で明石フェリーにて淡路へ。▼当時仕事で一宮町江井で宅地造成工事とその引渡しのため、北淡の会社出動に合わせ朝食をこの間電話にて北淡の数人の悲報が入る。▼弟は車で津名町の銀行に出動。▼安否確認の家族、神戸の義妹、北淡町小田の叔母、高槻の実弟の順で出発。▼八時頃一宮へ出た。▼海岸沿いの県道では驚きの連続だった。▼墓の浦の集落は壊滅状態で、壁土の散乱。▼土色の町に、野島橋は約十センチの陥没。▼富島の町も倒壊した家屋多数。▼県道側に倒れた所は通行がやがて困難な場合も。▼役場周辺の倒壊家屋では必死の救援活動をする消防団員の姿を目の当たりにする。▼斗の内に、ここも損壊の家屋が多い、私の生地は見果てなく変わり果てていた。▼私の生家は前年の十月に既に取り壊し

角の底辺の位置に迫り直撃は免れた、奇跡かも知れない。▼家屋本体は少し傾く程度、瓦等の落下は皆無。幸い電気、水道、電話等の被害は無し。▼義弟の会社出動に合わせ朝食をこの間電話にて北淡の数人の悲報が入る。▼弟は車で津名町の銀行に出動。▼安否確認の家族、神戸の義妹、北淡町小田の叔母、高槻の実弟の順で出発。▼八時頃一宮へ出た。▼海岸沿いの県道では驚きの連続だった。▼墓の浦の集落は壊滅状態で、壁土の散乱。▼土色の町に、野島橋は約十センチの陥没。▼富島の町も倒壊した家屋多数。▼県道側に倒れた所は通行がやがて困難な場合も。▼役場周辺の倒壊家屋では必死の救援活動をする消防団員の姿を目の当たりにする。▼斗の内に、ここも損壊の家屋が多い、私の生地は見果てなく変わり果てていた。▼私の生家は前年の十月に既に取り壊し

ていて隣近所に迷惑を懸けなくて良かった。▼親戚の小父さん、近所の方が筆筒の下敷きになり救急車で病院に搬送されたとの事。▼室津の橋も陥没していた。▼尾崎にしかかった時、NHKのニュースで斗の内の人の計報を聞く、たしか三学年下で中学時代まではよく遊んだ記憶がある。▼江井の桃川にある私の家屋もその隣接の宅地も幸いな事に被害は免れていた。▼郡家の一宮町公民館には「一宮町遺体安置所」と書かれた看板が掲げられていた、被災地の真ん中だ。▼一宮町役場の職員の大半は災害救助に出払い閑散たる有様だ。▼評価証明の申請をするとコンビニエーターが壊れて検出ができないうと、それでも女性職員の方が原本の記載を手書きで作成し交付するとの事、あまりの惨状に私は丁重に断わり後日出直すこととして役場をあとに。▼藤木への帰りに舟木の伯母の生家は前年の十月に既に取り壊し

ていて隣近所に迷惑を懸けなくて良かった。▼親戚の小父さん、近所の方が筆筒の下敷きになり救急車で病院に搬送されたとの事。▼室津の橋も陥没していた。▼尾崎にしかかった時、NHKのニュースで斗の内の人の計報を聞く、たしか三学年下で中学時代まではよく遊んだ記憶がある。▼江井の桃川にある私の家屋もその隣接の宅地も幸いな事に被害は免れていた。▼郡家の一宮町公民館には「一宮町遺体安置所」と書かれた看板が掲げられていた、被災地の真ん中だ。▼一宮町役場の職員の大半は災害救助に出払い閑散たる有様だ。▼評価証明の申請をするとコンビニエーターが壊れて検出ができないうと、それでも女性職員の方が原本の記載を手書きで作成し交付するとの事、あまりの惨状に私は丁重に断わり後日出直すこととして役場をあとに。▼藤木への帰りに舟木の伯母の生家は前年の十月に既に取り壊し

薄木会長の逝去と

支部活動について

支部長

小久保 澄夫
(高十三回生)

本部との連絡も強化され多忙な中ほとんどの学校行事に出席され、後日その報告を聞くのが楽しみでした。この間、念願の同窓会館完成を見ましたが、その為の募金活動にも、大変尽力されました。その後、平成二十年八月の本部（高五回）で代行総会でお呼びしてありますが、総会まで後一年ととなっていることから、至急次期会長の人選を進めべく検討を重ねております。また、支部の方でも、今年一月、五熊詔一副支部長（十三回生）が病気で他界されました。長きにわたり、会の運営、支部報の発行等に大変なお力添えをいただきました。同窓会としてはこれから創立百周年という記念大事業に向かつて活動を進めている最中だったその痛手はかりしれません。素早い決断力、

本部との連絡も強化され多忙な中ほとんどの学校行事に出席され、後日その報告を聞くのが楽しみでした。この間、念願の同窓会館完成を見ましたが、その為の募金活動にも、大変尽力されました。その後、平成二十年八月の本部（高五回）で代行総会でお呼びしてありますが、総会まで後一年ととなっていることから、至急次期会長の人選を進めべく検討を重ねております。また、支部の方でも、今年一月、五熊詔一副支部長（十三回生）が病気で他界されました。長きにわたり、会の運営、支部報の発行等に大変なお力添えをいただきました。同窓会としてはこれから創立百周年という記念大事業に向かつて活動を進めている最中だったその痛手はかりしれません。素早い決断力、

行二十周年を迎えることとなりました。さしくもあの阪神淡路大震災と重なり大変意義深い年となりました。今年度の紙面の中に、特集記事のせております。また、今年より、支部報の發送範囲について、淡路三市を除く全国とする事に決定しました。ですから、各地の卒業生の皆様のお手元に届くものと思えます。ちなみに、淡路地区は会員の数が大変多く、経費の関係で、残念ながら送ることが、むづかしい状況です。ただ、津名高校の在校生の皆様と旧職員の方々には毎年配布しています。いつものことながら、大変心苦しいことではありますが、今年も会費納入の件何とぞ御協力の上、よろしくお願い申し上げます。支部長のあいさつといたします。暑さもこれからです。きつと今年も大変な夏になることでしょう。どうぞ、皆様頑張ってください。今年、支部報発

いこいの宿 淡路島
津名ハイッ
(宿泊・宴会・研修・会議)
〒656-2131 兵庫県淡路市志筑162
TEL.0799-62-1561 FAX.0799-62-1562

えびすがわ
しめだ
京呉服 夷川
〒604-0093 京都市中京区夷川通新町角
075-221-8139
岡 川 都志子 (高25回生)

で聞いていたが、やはり母屋は住めない模様 ▼よくこれで誰も怪我一つないのが信じられない ▼昨日の法事の出席者がかなり集まっていた ▼私もひよっとしてこの家で寝ていたかも知れない、天井から吊り下げていた大きな神棚が落下している ▼直撃を受ければヤバイ事に ▼伯父は前年の十二月に他界した伯母がこんな怖い目に遭わなくて逆に喜んだ ▼人々が集まるとかなりの情報が入る ▼知人の計報も道路情報もそしてフェリーの事も ▼阪神方面へは甲子園フェリーのみで、それも埠頭が壊れて船の二階部分が使用できずトラックが多くてかなりの待ち時間がある ▼伯母の家は今の地震記念館から一キロ山よりに位置している ▼土砂の採掘した跡地にはなんと臨時のヘリポートになり救急車で運ばれてきた怪我人を何度も神戸や大阪方面に空送する場面をみかけた ▼再度森母から「何もこんな日に帰らなくて」と引		き止められるが結局津名港へ ▼案の定乗船待ち約四時間 ▼公衆電話で義母にその旨を伝えると、予期せぬ事態が ▼野島断層が余震で地滑りが起こると危険なので野島小学校に避難せよとの勧告、車でこれからの向かうと ▼私はすぐに体育館へ行かないで江井の家へどうぞと ▼大学・高校の入試を控えていた弟家族はその日の夜から江井での生活が続く事に ▼出港までの間に友人や知人と安否確認の電話をした ▼船内には愛媛県消防の救援隊員が多数乗り込んだが、隊長らしき人が「西宮港に着けば直ぐ救援活動になるから仮眠しろ」でも皆んな興奮して誰も寝ていない ▼船内のテレビには神戸の惨状が映しだされていた ▼西宮鳴尾浜は液状化現象でかなりの水たまりに、武庫		川を渡ると街は綺麗に見えた ▼R七を一歩路へ向かう西行きは大渋滞だが反対の東行きはガラガラ ▼伊丹市役所前で東京ナンバーのパトカーに先導された警察、消防の大救援部隊とすれ違う ▼緊急事態なので反対車線を通行してくる		一月十八日 ▼午前一時頃高槻の自宅に無事到着 ▼妻と二人の子供も興奮してまだ寝ていなかった ▼四日後の夜おそくそれまで連絡が取れなかった神戸の従兄弟の細君が長田の真野小学校の体育館に無事避難しているとの吉報が入った		夢への道 早田 沙由里 (高五三回生)  		私は幼い頃から芸術、モノづくりに興味があり、中学校は吹奏楽部、高校では写真部、手芸部に入っていて、高校在学中に通信教育で服飾を学んだりもしていました。 その頃からほんやりですが「将来は、音があり、絵があり、ファッションがあり、みんなが何か刺激をもらいに来られるような、総合的な空間をつくりたい」と考えたようになりました。 高校を卒業してどういう道に進むか、最初は服飾の専門学校なども考えましたが、自分がやりたいことは、何か一つにしてはなというのではなく、総合的なヒト、モノづくりなので、絵を総合的に学べるところを探		容室も含めた総合施設でした。美容室というところは、人が外見からも内面からも変わるところ、そういう場所にいるような芸術をいっしょに感じられたら、刺激的な空間づくりができ、みんなが暮らして楽しむいい「氣」が流れるのではないかと考えたのです。 その後、無事芸術計画学科に入学し、在学中はいろんな芸術ジャンルを広く浅く、いろんな人を巻き込むことプロジェクトスすることなど、あらゆることを学びました。私はその中でも、美容とアートというところに着目して、卒業制作では人にヘアメイクをして写真撮影し、ストーリー展開する写真絵本を作りました。 そこでヘアメイクとして協力してもらったのが、今私が働かせてもらっている会社（美容室）ニコデザインオフィスのオーナーでした。 作品は、白鳥の湖と人魚姫の話を、モデルさんにヘアメイクし、撮影しカラージュネ化したものを展示し、歩きながらストーリー		リーを読んでいくという展覧会の開催でした。展覧会場は、同会社の一号店となる「レッドベッパ」という美容室の中でした。オーナーは私の意志をくみ、心よく場所を提供してくれました。このことがきっかけで、ここでいっしょに働かないかと言ってくださり、私は美容の道へと進むことになりました。もともと総合施設の中に美容室も含めようと思っていたところが、自分が美容師になった方がいいのではないかと、美容室主体で総合的な空間作りができるのではないかと、そのモノを作るどころかヒトを作るなんて、最大のクリエイティブではないかと考えたのです。 そして私は通信教育で美容師の資格を取り、レッドベッパに勤務、その後二号店となる「ジュリアンメイ」のオープニングスタッフとして参加、現在で美容歴十年目になります。 お店ではサロンワークはもちろん、コンテストやセミナー、ヘアショー、撮影、衣装作り、		店内でのライブイベント等の企画など、たくさんのごとをさせていただき、高校時代に考えていた形に、少しずつですが近づきつつあります。 昨年は美容のコンテストで、ジュリアンメイ代表の牧野と共に、日本代表として、モナコで行われた世界大会にも出場させていただきました。 私は美容の道へと進むことになりました。もともと総合施設の中に美容室も含めようと思っていたところが、自分が美容師になった方がいいのではないかと、美容室主体で総合的な空間作りができるのではないかと、そのモノを作るどころかヒトを作るなんて、最大のクリエイティブではないかと考えたのです。 そして私は通信教育で美容師の資格を取り、レッドベッパに勤務、その後二号店となる「ジュリアンメイ」のオープニングスタッフとして参加、現在で美容歴十年目になります。 お店ではサロンワークはもちろん、コンテストやセミナー、ヘアショー、撮影、衣装作り、		田中 種 義 (高十三回生)		小久保 澄 夫 (高十三回生)		岩井 吉 人 (高十二回生) 東京淡路会副会長・事務局長 津名高校同窓会東京支部支部長 〒350-0011 埼玉県川越市寺尾六四一三 TEL (〇四九二四) 一八三三三		柴 生 進 (高十回生) 〒664-0013 川西市美園町七ー四		尾崎 田鶴子 (高六回生) 〒566-0001 摂津市千里丘四一三ー二七 TEL 〇六ー六三八九一四〇七〇		保 宗 幸 夫 (高六回生)		河 合 春 子 (高五回生)		立 花 和 也 (高五回生)	
---	--	---	--	--	--	--	--	---	--	--	--	---	--	---	--	--	--	---------------------------	--	----------------------------	--	--	--	--	--	---	--	---------------------------	--	---------------------------	--	---------------------------	--

ネパールの子供達に学校を

木長 義昌
(高十六回生)

経緯

新婚旅行でネパールに行ってきた。昨年、ちょうど四十年になりました。もう一度、行ってみようと思ったのですが、行く機会がなく、そのまんま、日が過ぎていきました。

そんな中、元の職場の先輩が、ネパールに小学校を作るNPOに入っているのを聞かせてもらいました。年に一校建設することを目標に、二十年ほど前から活動している団体で、メン

バーが四五〇人ほどいます。毎年、現地が乾季になり、学校が出来上がった頃に引渡し式を行っており、日本から数名が式典に参加するために現地訪問しているというところでした。そして、式が終わった後は、少し観光旅行をして戻ってきています。



現地の小学校

舎に学校を作る、と言うことに引かれ、このNPOに参加させていただき、学校の引渡し式も体験してきました。

この旅行は、往復の格安航空券を旅行社に手配してもらいますが、現地のホテルやオプションは、全て現地の旅行社で準備してもらいます。これは、なるべく、現地の人に還元したい、ということからきています。

市内観光

現地に入ってから、第一日目は、カトマンズのホテルに宿泊して、次の日は市内観光をしました。四十年前の思い出が、車とバイクの多さでかき消されようとしていましたが、少し郊外に出ると、懐かしい風景が残っていました。

世界遺産となつて、現状保存、修復を行っている寺院や、その周辺には前に見た風景が残っていました。

ただ、どこでも、誰でも携帯電話を持っていることや、観光客の多さには、時間が経過していることを実感せざるをえませんでした。



小学校引渡し式

学校引渡し式

次の日からは、学校引渡し式です。三校は、それぞれが、僻地の小学校であるために、非常に離れていました。そのために、一日に一校ずつとなります。

市内観光が終わった後、郊外に出て、学校に近いホテルへの移動をしました。学校の近くにはホテルがないために、なるべく近く、ということになります。

日本人が泊まれるホテルとなると、学校からかなり離れていました。

小高い、ヒマラヤ山脈が見渡せる位置や、古い宿場町的な宿（設備は近代化され、観光地化されています）

が）などに、宿泊しました。

朝食後に、学校への移動のために車に分乗しました。この車は、市内観光などに使っていたバスではなく、古い四輪駆動車、本製です。これで、少しは道の悪

いところを走るのが、かなりのこととは感じていたが、学校に近くなるとその意味がはつきり分かってきた。未舗装の狭い道（あえて、道路とは言いません）で、急坂、凸凹、石も所々転がっていますし、もちろんガードレールは有りません。前の手摺りに掴まっていると、体が浮いたりして、いすから落ちそうになり

ます。景色の良いところもありましたので、写真を撮りましたが、少し落ち着いた道にならないと、撮れませんでした。一番取りたかったところでは、手摺りにしがみ付いていました。

昼過ぎに学校に着きました。学校は、適当な昼食を取る所（レストラン、ホテルなど）がなかったために、途中で、クラッカーと飲み物が配布されましたが、車の中では揺れが激しいので、皆さん、昼食抜きでした。

学校に着くと、朝から集まっていた小学生とその保護者など村の人たちが歓迎してくれました。

校長先生や地区の長老の歓迎のお話（ネパール語で、通訳がないため、全く分かりませんが、少しあつて、その後に、鍵の引渡し式です。

その後は、歌やダンス等が有りましたが、帰り道が心配なので、途中で引き上げた上で、いすから帰って、夕食をとっていると

きに、電話で確認してもらったところ、まだ、式典（お祭り）は続いていて、とのことでした。

二校では、これまで、外国人が来たことがなかったとのことでした。

「こんなところに日本人が小学校を作ってくれた」と、地域のみんなが集まって感謝してくれました。

引渡し式の後は、チトワンで象に乗ってサイを見た、小型機に乗りエベレストを見た

追記
この原稿は、

りと、普通の観光旅行もしました。それでも、今回は小生たちの笑顔が最も印象的でした。何か、忘れていた物を思い出したような気分です。

何回行けるか分かりませんが、また訪問したい、と思っています。

ご興味を持たれた方は、下記URLを開いてみてください。

http://helpnp.jp/indoco/

追記
この原稿は、

二〇一五年四月二十五日に発生したネパール大地震以前に書いたもので、被災された多くのネパールおよび近隣各国の人々の立ち直りを期待いたします。

マスコミ等でも、首都カトマンズや世界遺産の建物などの被災状況が報道されていますが、震源地近くの村などの被災状況はあまり伝えられていません。

地方の村には、川に沿った谷筋が

ら、険しい坂を登った上のようにも民家が点在しています。

私たちが学校を建ててきた地方の村がどのようになっているか、情報を集めています。まだ、詳細には掴めていません。

そんな中で、長期的な支援を続けていきたい、と、思っています。

HELP NEPAL ASSOCIATION (JAPAN) の援助の受付を行っています。ご協力いただければ幸いです。

け度外視のペット事業の展開は社長個人の考えで決めています。

ペットロスの深い悲しみに少しでも寄り添いたい。

そんな想いは諸処に届き、島内の動物病院の先生達から絶賛して頂くようになった。「儲かる仕事より、喜んでもらえる仕事」を大切にすべきだ。この仕事に従事して初心に返っております。動物達に感謝の思いです。

ペット火葬「チロの日記」

柳山 悟

片山 悟
(高二十九回生)

十七年間を家族として暮らしてきた飼犬との別れの話を書いた。それは辛くて、暫くは仕事にも涙が出てきて仕事を数分中断するほどだったとか。もはやペットは家族である。そんな想いを受け止め、喜んで頂ける仕事に繋がりたい想いでペット火葬業務を始め、一年半が経った。

動物専用の固定火葬炉は島内初。南あわじや神戸から

も利用者が増えるようになった。人間の火葬中には、遺族は食事を取るのが習慣だがペットちゃん火葬中には食事も喉を通らないうえ、火葬炉の傍で呆然と待つ人もいます。人のそれにまじって涙を誘われることもしばしば。

ご挨拶 県立津名高等学校長 中 眞一 本校同窓会阪神支部の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。 昨年十月二十五日、同窓会長 薄木昌信様のご逝去されました。誠に痛恨の極みであります。私自身は昨年の四月からのお付き合いですでしたが、まるで以前からお付き合っていたかのように親しくさせて頂いていただきました。お付き合いしてまだ間もない四月の頃に、「高校入試の学区の拡大に伴い、これから校外に向けて本校の宣伝を積極的に行こう」と思っています。が、同窓会のご支援をいただけないでしょうか。」とお願いしましたところ、母校の為にらとご尽力いただき、大きなご支援をいただきました。また、本校野球部を初めとして、常に本校生徒のことを気に掛けてくだ		さつていました。「母校の百周年を祝うまでは、絶対に死にません。」とおっしゃっていた薄木会長。誠に残念でなりません。今まで津名高等学校のためにご尽力くださった薄木昌信様に哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りしたいと思います。 さて、本年度入学生の高校入試から学区が拡大し、推薦入試と一般入試が実施されました。昨年度まで、推薦入試・一般入試とも淡路地区から希望する高校一校を選んで受験する単独選抜でした。しかし、本年度の推薦入試は淡路地区、神戸地区と芦屋地区が統合した第一学区の推薦入試実施校から一校を選んで受験でき、また一般入試では、この第一学区の全日制高校二十六校の中から第一志望校と第二志望校を選んで受験できる複数志願選抜となりました。 淡路地区の普通科の中で最も北にある本校は学区拡大の影響を一番受		けやすく、本校第一志望の定員割れが懸念されましたが、「生徒の伸び率がNo.1の学校」というキャッチフレーズで本校職員がPRしたことで、本校を応援してくださっている同窓生の皆様や保護者の皆様が口コミで本校のPRをしてくださったお陰で、本校を第一志望とする生徒が定員を上回りました。 本年度の高校入試に向けて本校のPRをしてくださった同窓生の皆様、どうもありがとうございました。来年度の高校入試に向けても、昨年に引き続き、昨年と同様に本校PRのご支援をいただけますようよろしくお願いします。最後に、		たが、この四月一日に「百周年校内準備委員会」を正式に立ち上げました。総務部を取りまとめ役として、式典を挙げる記念行事部、記念誌の発行を中心とした記念事業部と広報・渉外・記録部の三部で構成されている。また、四月六日には同窓会事務局を中心としたメンバーで、素晴らしい百周年記念式典をされた県立柏原高等学校に視察に行ってみました。 今後は、同窓会の皆様と歩調を取りながら、百周年に向けて一步一步着実に取り組んでいきたいと思っております。ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。		す。昭和五十二年四月に新採用として津名高校に四年間勤務しました。その後、淡路農業高校一宮分校で十七年間、志知高校で十一年間勤務し、淡路三原高校教頭、神戸高塚高校教頭、津名高校教頭をそれぞれ二年間勤めました。縁あって、津名高校でスタートし、また、津名高校で勤務させていただきました。教員の子供さんも在学中にわたって、二世の方とおつきあいさせていたいています。とても嬉しく皆様に感謝しています。 さて、通学区が広がって、複数志願になって初めての入試が行われました。つらいなあと思ったのは、津名高校で受験して、津名高校ではなく第二志望校に合格した生徒さんです。津名高校の合格発表で合格番号が載っているのに、津名高校に合格したと思い、とても喜んでいたら、学生が、合格通知書をもらって初めて、ほかの学校に合格していたことがわかり、泣き出している姿を見受		けました。また、逆に入学説明会には他校で受験して第二志望で津名高校に来た生徒も若干名いました。第二志望で入ってきた生徒のケアも重要です。今回の入試では神戸の学校から選ぶことができるので、選択できる学校数も多く、わかりづらかった面も大きく、そのうえ第一志望校の変更ができなかったのも、どこの中学校の生徒もかなり慎重に学校を選んでいました。結果として淡路島から神戸の公立高校に通学している生徒もでしたが、予想していたより少なく、ほとんとは少ないです。神戸に通学するには時間と費用がかかり、肉体的にも経済的にも負担が大きいと考えられます。しかし、淡路島の北部は津名高校へ来るよりも、時間も、費用も安いので、どこの学校に行く方が自分にとって良いかを考えることが重要です。 津名高校はこれまで生徒の面倒を見て、生徒の夢の実現にむけて職員一丸となって取り組んでいます。部		活動も活発で、文武両道を目指す生徒も多く、礼儀正しく元氣な生徒が育っています。総合科学コースには神戸からの受験もあり、一名が通学しています。海の見える美しい校舎、マンドリンの音色に惹かれて何度も学校見学に出来ました。今夏もオーブンハイスクールに大勢の生徒が訪れています。							
MITSUグループ ミツ精機株式会社 ミツテック株式会社 淡路市下河合 301 番地 http://www.mitsu.co.jp/		■名簿が発刊されます■ 5年毎に発刊される同窓会名簿がこの8月に出来上がります。既にお申し込みの方には、順次手元に送付されますが、万一お忘れの節は本部に少し在庫がございます。本部宛に電話確認をして御購入をお願いします。なお不明の同窓の方の所在等をお知りの方はご本人の了解を得て本部宛お知らせ下さい。		松井 早苗 (高十三回生)		高十三回生有志一同		北野 佳代子 (高十三回生)		笠山 恭昭 (高十三回生)		南 正光 (高十四回生)		淡路市長 門 康彦 (高十五回生)		大阪富田林工業団地協同組合 事務局長 中野 淑郎 (高十五回生)		北川 映子 (高十五回生)	

進路指導部より

進路指導部長 北川 敏史

今春に卒業した
六十六回生の進路
状況をご報告させ
ていただきます。

就職・

公務員について

民間就職に関し
ましては、男子六
名、女子九名の合
計十五名全員が内
定を得ています。

内訳は、九月の一
次試験の段階では
男子六名（島内四
名、県内二名）女
子七名（島内六名
県外一名）全員が
内定しました。公
務員試験不調者女
子二名が十一月の
三次試験で民間に
内定しました。

公務員試験では、
希望者男子五名
女子六名の内、淡
路市役所一名、洲
本市役所一名、自
衛隊二名、兵庫県
警に四名合格しま
した。全体として
は民間、公務員と
も好調であつたと
言えます。

進学について

(推薦入試)

国公立大学
今年は、国公立
大学に三十二名が
合格しました。内
訳は、センターな
し推薦で十六名、
センターありの推
薦で七名。一般入
試で九名が合格で

す。推薦の合格率
は例年と同じよう
に六十%を超えま
した。入学時の成
績から苦しい戦い
が予想されていま
したが、六十六回
生は大いに健闘し
て最善の結果を出
したと思います。

私立大学

私立大学の受験
数は例年より少な
い方でした。その
第一の理由は、指
定校推薦の利用が
例年より多かった
こと。第二に国公
立大学への思考が
強く、私立難関大
へのチャレンジは
控えめであつたこ
と。第三に国公立
大の推薦入試に
チャレンジし、合
格した者が多かつ
たことがあげられ
ます。

短大・専門学校

短大の受験者が
かなり減りました。
短大は幼児教育、
保育系の志望者が
多く、ほぼ第一志
望の学校で合格を
決めました。本校
では専門学校希望
者の半数は看護医
療系です。倍率も
高いことから例年
苦勞していますが
今年はなんとかほ
は全員が進路実現
できました。専門

学校で何を学ぶか
は将来の仕事に直
結することなので
とりたい資格やな
りたい職業を考え
抜き、選ぶように
させています。本
校でもガイダンス
の機会を設け、直
接、専門学校の先
生からの講義や実
習を体験する機会
を与えています。

全体として

家庭学習の時間
の不足から基礎学
力が身についてい
ない生徒も増えて
います。こういった
現状から、意識
改革と学習時間の
確保が最重点課題
となっております。

また就職希

望者は面接
試験でのコミュ
ニケーション能力
が特に重要
視されています。
高校生活において
努力してきたこと
を自信を持って
話せるように、毎
日の学習や部活
活動などにしっ
かり取り組みま
す。

津名高校

では二年生
から進路学
習や自己分
析、自己表

進路状況 過去8年間の最終進路先の比較

	国公立大学	私立大学	短期大学	専修各種学校	進学準備	公務員・民間	合計
平成19年度	22	100	30	49	12	23	236
平成20年度	31	121	18	39	10	19	238
平成21年度	22	102	23	34	7	10	198
平成22年度	44	73	11	50	4	17	199
平成23年度	36	76	22	40	5	19	198
平成24年度	33	57	26	60	1	21	198
平成25年度	33	88	14	42	8	15	200
平成26年度	31	72	10	54	4	22	193

津名高等学校66回生（平成27年3月卒業）進路状況

四年制大学進学状況

大学名	合格	進学
山梨大学	1	1
滋賀大学	1	1
大阪教育大学	1	1
神戸大学	2	2
島根大学	1	1
岡山大学	3	3
山口大学	2	2
徳島大学	3	3
愛媛大学	3	3
高知大学	3	3
鹿屋体育大学	1	1
国立大学合計	21	21
兵庫県立大学	4	4
鳥根県立大学	1	1
岡山県立大学	1	0
新見公立大学	1	1
香川県立保健医療大学	1	1
高知県立大学	1	1
高知工科大学	2	2
公立大学合計	11	10
国公立大学合計	32	31
大東文化大学	1	1
法政大学	1	1
創価大学	2	0
鈴鹿医療科学大学	1	0
びわこ成蹊スポーツ大学	1	0
京都学園大学	1	1
京都産業大学	9	4
京都橘大学	1	0
同志社大学	1	0
佛教大学	1	1
立命館大学	8	1
龍谷大学	4	2
京都精華大学	1	1
明治国際医療大学	1	1
京都美術工芸大学	1	1
大阪工業大学	3	0
大阪産業大学	3	1
大阪体育大学	4	1
大阪電気通信大学	1	1
大阪大谷大学	1	1
関西大学	3	1
関西医療大学	1	0
関西外国語大学	3	2
近畿大学	3	1
四天王寺大学	5	3

大学名	合格	進学
相愛大学	1	1
阪南大学	1	1
大阪経済法科大学	1	0
摂南大学	1	1
関西福祉科学大学	1	1
太成学院大学	1	1
関西学院大学	4	2
甲南大学	9	6
甲南女子大学	3	1
神戸海星女子学院大学	1	1
神戸学院大学	9	5
神戸女子大学	4	2
神戸薬科大学	1	1
神戸親和女子大学	1	0
武庫川女子大学	4	2
姫路獨協大学	2	1
流通科学大学	3	2
神戸芸術工科大学	5	5
関西福祉大学	1	1
関西看護医療大学	2	1
近大姫路大学	1	1
神戸常盤大学	6	5
奈良大学	1	0
岡山理科大学	2	0
ノートルダム清心女子大学	1	1
実践大学	1	1
広島工業大学	2	1
徳島文理大学	4	3
四国学院大学	1	0
私立大学合計	135	72

短期大学進学状況

短大名	合格	進学
神戸女子短期大学	5	4
神戸常盤大学短期大学部	1	1
竜谷短期大学	1	1
武庫川女子大学短期大学部	3	2
須賀短期大学	2	2
短期大学合計	12	10

専門学校進学状況

学校名	合格	進学
京都栄養医療専門学校	1	1
京都建築学校	1	1
愛仁会看護助産専門学校	1	1
大阪医療看護専門学校	1	1
大阪医療技術専門学校	1	1

学校名	合格	進学
大阪航空専門学校	1	1
大阪総合デザイン専門学校	2	2
大阪ビジネスカレッジ専門学校	1	1
大阪ビューティーアート	1	1
大阪府医師会看護専門学校	1	1
大阪調理製菓専門学校	1	1
関西医療学園専門学校	1	1
近畿大学附属看護専門学校	1	1
高津理容美容専門学校	1	1
日本歯科学院専門学校	1	1
麗正社医療スポーツ専門学校	1	1
ル・トーア東亜美容専門学校	1	1
明石医療センター附属看護専門学校	2	1
大原簿記専門学校神戸校	5	4
環境学園専門学校	1	1
関西健康科学専門学校	1	1
関西総合ハビリテーション専門学校	7	7
関西労災看護専門学校	1	1
神戸医療福祉専門学校三田校	1	1
神戸市医師会看護専門学校	1	0
神戸製菓専門学校	1	1
神戸総合医療専門学校	4	4
神戸中央病院附属看護専門学校	1	1
神戸電子専門学校	3	3
神戸ブレイメン動物専門学校	1	0
神戸ベルエール美容専門学校	1	1
神戸理容美容専門学校	1	1
コスモ動物総合学園	2	2

学校名	合格	進学
トヨタ神戸自動車大学校	3	2
ハーベスト医療福祉専門学校	1	1
姫路赤十字看護専門学校	1	0
兵庫県立総合衛生学院	1	1
兵庫県立但馬技術大学校	1	1
平成経済看護専門学校	1	1
順正高等看護福祉専門学校	1	1
専門学校合計	60	54

就職状況

公務員・会社名	合格	就職
TBCグループ（株）	1	1
淡路市役所	1	1
淡路産業（株）	1	1
医療法人社団 鈴木整形外科（株）	1	1
（株）キャトルセゾン松帆	1	1
（株）淡路観光開発公社	1	1
（株）神戸未来	1	1
自衛隊	1	1
社会福祉法人弘道福祉会洲本特別養護老人ホームラガール	1	1
新日鐵住金（株）	2	2
洲本市役所	1	1
大昭和精機（株）淡路工場	1	1
たこせんべいの里（株）多幸	1	1
兵庫警察	4	4
ミツ精機（株）	1	1
前沢建設開発（株）淡路島上サテライト	1	1
ムネ製菓（株）	1	1
ユーアール（株）	1	1
就職合計	22	22

校史資料
提供のお願い

昨年の同窓会報でもお知らせしま
したが、百周年記念事業の一環とし
て校史資料室の開設と記念誌の発
行を計画しております。どちらも
創立百周年の伝統校にふさわしい
ものになりたいと願っておりますが、
二〇〇五年の校舎移転の際に廃棄、
散逸した品々も多く、現時点での収
集 確認作業はあまり進んでおりま
せん。みなさんの津名高時代の制服、
教科書、写真など、提供していただ
けるものがあれば事務局までお知ら
せください。

クラブ活動

「体育部」

●陸上部

平成 26 年度 全国高等学校総合体育大会
平成 26 年 7 月 30 日（水）～ 8 月 3 日（日）
山梨中銀スタジアム
1500m 予選 4 組 10 位 4 分 1 秒 46 坂東 悠汰（3 年）

第 66 回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会
平成 26 年 8 月 20 日（水）～ 22 日（金）
ユニバー記念競技場
＜男子 2 年＞
走高跳 7 位 1 m80 杉山 千聖（2 年）
＜女子 1 年＞
1500m 8 位 4 分 55 秒 08 中西 希（1 年）
3000m 7 位 10 分 36 秒 14 中西 希（1 年）
＜女子 2 年＞
100m 6 位 13 秒 05 近藤 雅美（2 年）
200m 2 位 26 秒 88 近藤 雅美（2 年）

男子第 69 回・女子第 31 回兵庫県高等学校駅伝競走大会
平成 26 年 11 月 2 日（日）
篠山市高校駅伝コース
＜男子＞総合 14 位
2 時間 20 分 02 秒
坂東・坂本和・神野・栗山・坂本崇・朗積順・積積純
＜女子＞総合 8 位
1 時間 16 分 43 秒
奥賀・下土井・原・堀川・中西

●野球部

第 96 回全国高等学校野球選手権兵庫大会
7 月 5 日～ 7 月 27 日
大会結果 ベスト 16

平成 26 年度秋季兵庫県高等学校野球大会
播磨地区予選
8 月 16 日～ 8 月 26 日
D フロップ 1 位

平成 26 年度秋季兵庫県高等学校野球大会
9 月 13 日～ 10 月 5 日
兵庫県大会 3 位

平成 26 年度秋季近畿地区高等学校野球大会
10 月 18 日～ 11 月 2 日
京都わかさスタジアム
近畿大会 出場

●男子ソフトテニス部

平成 26 年度 全浜高等学校ソフトテニス選手権大会
平成 26 年 8 月 27 日（水）
淡路青少年交流の家テニスコート
〔個人戦〕 優勝 太山・桑町ペア
2 位 池田・廣崎ペア

平成 26 年度 第 31 回全浜高等学校ソフトテニス新人大会
平成 26 年 10 月 4 日（土）、5 日（日）
淡路青少年交流の家テニスコート
〔団体戦〕 1 位

平成 26 年度 兵庫県高等学校ソフトテニス新人中央大会
平成 26 年 10 月 31 日（金）、11 月 1 日（土）
しあわせの村
〔個人戦〕 3 回戦進出 山口・西ペア
2 回戦進出 門・岡本ペア

●女子ソフトテニス部

平成 26 年度 兵庫県民大会少年の部
平成 26 年 8 月 27 日（水）
しあわせの村テニスコート、
神戸総合運動公園テニスコート
〔個人戦〕 3 回戦進出 谷・濱口ペア
古東・大橋ペア

平成 26 年度 全浜高等学校ソフトテニス選手権大会
平成 26 年 8 月 27 日
〔個人戦〕 優勝 谷・濱口ペア

平成 26 年度 全浜高等学校ソフトテニス新人大会
平成 26 年 10 月 4 日、5 日
淡路青少年交流の家テニスコート
〔個人戦〕 優勝 谷・濱口ペア
3 位 古東・大橋ペア
〔団体戦〕 優勝

平成 26 年度 兵庫県高等学校ソフトテニス新人中央大会
平成 26 年 10 月 31 日、11 月 1 日
吉川総合公園テニスコート
〔個人戦〕 谷・濱口ペア 古東・大橋ペア出場

●ソフトボール部

第 68 回兵庫県民体育大会ソフトボール競技
〔淡路予選〕
7 月 20 日
津名高校グラウンド
2 位

平成 26 年度淡路高等学校新人ソフトボール大会兼
第 63 回兵庫県高等学校女子新人ソフトボール大会淡路地区予選
9 月 27 日
淡路三原高校グラウンド
2 位

●男子バレーボール部

第 68 回淡路高等学校バレーボール選手権大会
平成 26 年 10 月 11 日（土）、12 日（日）
兵庫県立淡路三原高等学校
優勝

第 66 回淡路高等学校バレーボール新人大会
平成 27 年 1 月 10 日（土）、11 日（日）
兵庫県立淡路三原高等学校
優勝（県大会出場）

●女子バレーボール部

平成 26 年度近畿高等学校バレーボール優勝大会
7 月 24 日（木）
島津アリーナ京都
近畿大会 出場

第 67 回全日本バレーボール高等学校選手権大会兵庫県予選大会
平成 26 年 11 月 1 日（土）
姫路市立総合スポーツ会館
兵庫県大会 出場

第 66 回淡路高等学校バレーボール新人大会
平成 27 年 1 月 10 日（土）、11 日（日）
兵庫県立淡路三原高等学校
2 位（県大会出場）

●柔道部

平成 26 年度淡路高校新人柔道大会
9 月 28 日
洲本高校柔道場
男子個人戦 73kg 級 1 位 秋山 翼

第 10 回淡路市民柔道大会
10 月 5 日
淡路市津名武道館
男子団体戦 高校・一般の部 優勝
男子個人戦 高校・一般の部 1 位 秋山 翼
2 位 曾輪 達斗
3 位 浅瀬 成貴

第 5 回全浜少年柔道大会
11 月 2 日
柳学園高校
男子個人戦 2 年生の部 優勝 秋山 翼

●剣道部

第 67 回淡路高等学校新人剣道大会
平成 26 年 10 月 4 日（土）
県立淡路三原高等学校 体育館
〔女子個人〕 大山 1 位 日笠 2 位
〔男子団体〕 優勝
〔女子団体〕 優勝

第 61 回兵庫県高等学校新人剣道大会
第 25 回高砂市長杯争奪高等学校剣道大会
平成 26 年 11 月 7 日（金）・8 日（土）・9 日（日）
高砂市総合体育館
〔男子団体〕 2 回戦進出
〔女子団体〕 2 回戦進出

●卓球部

平成 26 年度全日本卓球選手権大会（ジュニアの部）
兵庫県予選会
平成 26 年 8 月 18 日（月）～ 20 日（水）
神戸総合運動公園グリーンアリーナ
女子 個人戦 東原 4 回戦

平成 26 年度 淡路高等学校新人卓球競技大会
平成 26 年 10 月 11 日
洲本市文化体育館
男子 団体戦 3 位（県大会出場）
女子 団体戦 2 位（県大会出場）
女子 ダブルス 高野・東原 4 位（県大会出場）
シングルス 東原 4 位（県大会出場）

「文化部」

●ギター・マンドリン部

7/25 第 42 回全国高校ギター・マンドリン音楽コンクール
※優良賞受賞

10/5 いざなぎの丘元気っ子フェスティバル
ボランティア参加（淡路文化会館）

11/9 淡路うずしおフェスティバル 2014
依頼演奏（国立淡路青少年交流の家）

11/16 第 38 回兵庫県高等学校
ギター・マンドリンフェスティバル

※連盟奨励賞受賞（しづかホール）
11/23 日本健康・環境セラピー学会

依頼演奏（関西看護大学）

●生物部・化学部

・青少年のための科学の祭典
（8 月 23 日（土）、24 日（日））
ステージ出演：「～ 196℃の世界を体験しよう！」
フェース出演：「カラフルな染液入浴剤を作ろう」
「薬液でしおりを作ろう」
「エコバークトラフを作ろう」

・第 38 回兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門発表会
（11 月 5 日（土）、9 日（日））
パネル発表：「ペニシリンの精製について」
「淡路島の玉葱の日さについて」

●写真部

第 22 回春季写真コンテスト淡路支部予選
（県大会出場）

6 月 10 日（火） 洲本高校あやぐもホール
入選 起こさないでね 3 年 池上 結基
笑み 2 年 清水ひなの
佳作 大目線 3 年 上田 愛莉
花の上で一休み 3 年 魚 聖哉
僕、何と知らないよ 3 年 平磯 奈弥
桜チラッ 3 年 平磯 奈弥
WANKO 2 年 田中 舞
春の特等席 2 年 南 芽衣

第 22 回春季写真コンテスト本選
6 月 24 日（火） 兵庫県立明石高校
佳作 花の上で一休み 3 年 魚 聖哉

第 38 回兵庫県高等学校総合文化祭写真コンテスト
淡路地区予選
特選 甲 3 年 山口 脩希
（県大会出場）
お気に入りの場所 1 年 田中 佐季
（県大会出場）
入選 smile 2 年 南 芽衣
（県大会出場）

爽快！ 2 年 南 芽衣
笑顔 1 年 田中 隼
（県大会出場）
佳作 木の音色 3 年 山口 脩希
まぶしい朝のはじまり 3 年 佐奈落 咲
おりゃー！ 2 年 清水ひなの
夜の魔法 2 年 辻家 夏波

●演劇部

11 月 2 日（日）
兵庫県高等学校演劇研究会淡路支部合同発表会
洲本市民交流センタービバホール
最優秀賞 松本希望作「おきなたまねぎの下で」

11 月 22 日（土）～ 24 日（月・祝）
第 38 回兵庫県高等学校総合文化祭演劇部門発表会
第 58 回兵庫県高等学校演劇研究会中央合同発表会
兵庫県尼崎青少年創造劇場ピッコロシアター大ホール
優良賞 松本希望作「おきなたまねぎの下で」

●吹奏楽部

7/20 第 9 回淡路市夏祭り
依頼演奏（明石海峡公園）

7/27 第 61 回兵庫県吹奏楽コンクール淡路地区大会
（高校 A の部）（しづかホール）
※金賞、進賞賞

8/13 第 61 回兵庫県吹奏楽コンクール
（高校 A の部）（尼崎アルカイックホール）
※銅賞

11/16 兵庫県高等学校総合文化祭
吹奏楽部門演奏会（神戸文化ホール）

12/23 第 42 回兵庫県アンサンブルコンテスト
淡路地区大会（しづかホール）

打楽器 5 重奏 金賞
クラリネット 6 重奏 金賞
フルート 3 重奏 銀賞
サクソフォン 6 重奏 銀賞
金管 8 重奏 銀賞

1/17 阪神・淡路大震災 20 年メモリアルコンサート出演

●放送部

第 61 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト
兵庫県大会 決勝

平成 26 年 6 月 15 日（日）
於 甲南大学 岡本キャンパス
ラジオドキュメント部門
「なぜば鳴る」 準優勝
テレビドキュメント部門
「島にオリオンが輝いていた頃」 優秀賞

第 61 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会
平成 26 年 7 月 22 日（火）～ 24 日（木）
於 国立オリンピック記念青少年総合センター、
NHK ホール
ラジオドキュメント部門
「なぜば鳴る」 出品
テレビドキュメント部門
「島にオリオンが輝いていた頃」 出品

第 38 回兵庫県高等学校総合文化祭放送文化部門 決勝
平成 26 年 11 月 16 日（日）
於 神戸芸術工科大学
テレビ番組小部門
「津名高！不思議発見！」 奨励賞



母校生徒の作ったおにぎりが「コンビニ」に！

第四回具一ヶランブリが昨年十一月三日国営明石海峡公園で開かれ、母校二年の数際 末那美さんが考案した「淡路島おにぎり」がグラランブリに輝きました。

甘辛く炊いた牛肉とタマネギをご飯にまぜて握ったものです。今年三月に近畿圏のコンビニ、ローソンで期間限定販売されました。母校生徒会誌「鼓動」に掲載された数際さんの感想文を転載しました。

具一ヶランブリ受賞

二年生 数際 末那美

私は、今回の具一ヶランブリで、グラランブリを取る事が出来ました。最初は夏休みの宿題だったのですが、あまり何と気にせず、おにぎりのメニューを考えたりしていたし、まさか自分が選ばれるなんて思ってもいなかったのですが、先生に呼ばれ、このコンテストに出ると聞いたときは本当にびっくりしました。

それから、何回も何回もおにぎりを作って家族に食べてもらって、味の感想などを聞いて、よりおいしくおにぎりが作れるように努力しました。

そして、具一ヶランブリ当日の日、お母さんとおばあちゃん、友人の四人で会場に向かいました。どんなコンテストなのか想像もつかなかったのですが、少し不安もありました。最初は夏休みの宿題だったのですが、あまり何と気にせず、おにぎりのメニューを考えたりしていたし、まさか自分が選ばれるなんて思ってもいなかったのですが、先生に呼ばれ、このコンテストに出ると聞いたときは本当にびっくりしました。

それから、何回も何回もおにぎりを作って家族に食べてもらって、味の感想などを聞いて、よりおいしくおにぎりが作れるように努力しました。

そして、具一ヶランブリ当日の日、お母さんとおばあちゃん、友人の四人で会場に向かいました。どんなコンテストなのか想像もつかなかったのですが、少し不安もありました。最初は夏休みの宿題だったのですが、あまり何と気にせず、おにぎりのメニューを考えたりしていたし、まさか自分が選ばれるなんて思ってもいなかったのですが、先生に呼ばれ、このコンテストに出ると聞いたときは本当にびっくりしました。

それから、何回も何回もおにぎりを作って家族に食べてもらって、味の感想などを聞いて、よりおいしくおにぎりが作れるように努力しました。

そして、具一ヶランブリ当日の日、お母さんとおばあちゃん、友人の四人で会場に向かいました。どんなコンテストなのか想像もつかなかったのですが、少し不安もありました。最初は夏休みの宿題だったのですが、あまり何と気にせず、おにぎりのメニューを考えたりしていたし、まさか自分が選ばれるなんて思ってもいなかったのですが、先生に呼ばれ、このコンテストに出ると聞いたときは本当にびっくりしました。

東京支部からのご報告

東京支部長

岩井 吉人
(高十二回生)

津名高同窓生のみなさんこんにちは！

今、ここに阪神支部報第二十号の発行をお祝い申し上げます。

平素は、同窓会へのご支援ご協力を頂き感謝いたしております。

返りますと、あの未曾有の阪神淡路大震災の翌年に支部報第一号を発行以来、一年も休刊することなく発行なさいました編集関係諸氏に敬意を表します。

さて、「ふるさと」は遠きにおいて思うもの：と申しますが、関東に在住している津名高OB約五百人の方も、やはり「ふるさと」が「いい」昔の仲間とおしゃべりがしたい」との思いが強いのではないのでしょうか。

そして、五年前埼玉県へ転居したとき、私もその思いを感じた一人として東京支部の復活を期待しております。

そして、支部長を引き受けることと

る東京でPRしたい」とのこと、東京支部としてもぜひ支援・協力させていただきます。

加えて、ふるさとを共有した関東での同郷会について紹介しよう。

それは、「東京淡路会」です。「東京淡路会」とは関東在住者の淡路島出身者で集う親睦会、まず会員相互の親睦を図るとともに互助共益、郷土淡路文化、経済の向上に寄与する目的を有します。

大正七年初代会長の永田秀次郎氏（貴族院議員、東京市長）を中心に創立され、今年で九十七周年を迎え、現在会員は約二五〇名（内津名高OBは五〇名）です。

総会は毎年十月、勉強会（懇親会含む）年三回催しています。

これと共に、淡路市が東京・丸の内「淡路市アンテナショップ」が今年七月開設されました。関東では淡路市（淡路島）の認識度は低く、淡路市は「情報発信効果があ

る東京でPRしたい」とのこと、東京支部としてもぜひ支援・協力させていただきます。

加えて、ふるさとを共有した関東での同郷会について紹介しよう。

それは、「東京淡路会」です。「東京淡路会」とは関東在住者の淡路島出身者で集う親睦会、まず会員相互の親睦を図るとともに互助共益、郷土淡路文化、経済の向上に寄与する目的を有します。

大正七年初代会長の永田秀次郎氏（貴族院議員、東京市長）を中心に創立され、今年で九十七周年を迎え、現在会員は約二五〇名（内津名高OBは五〇名）です。

総会は毎年十月、勉強会（懇親会含む）年三回催しています。



平成二十六年年度

「同窓会総会」に出席して

東京支部

藤本 晴子
(高二五回生)

夏は毎年、淡路島で子供達の宿題を終え二学期始業式直前まで過ごし、近頃は帰省期間が長くなる傾向になります。

そんな中、東京支部長の岩井吉人様にお声掛けいただき「津名高校同窓会総会」に出席の機会を得ました。

年代の中が大きく、果たして知り合いがいっぱいやるのか、不安を抱え当日を迎えました。

今回は、学び舎の隣の「津名ハイツ」が会場で自転車十分の距離で有り難い事でした。

八月三十日。恩師・先輩・市長・同期・同地区の方等、瞬く間に不安は飛び、「淡路弁」の会話で笑い声が混じり賑やかです。

す。本会の問い合わせ先 事務局長 岩井吉人まで 携帯090-8875-5019 最後は、改めて淡路島そして津名高校を思い出して

ください。そしてそれぞれの会にご参加いただき、昔、今、これから語り旧交を温められることを願っています。

リン部独特の音色は、聴き覚えある五曲を演奏。

た。「久しぶりやなあー」と同期生。中には親御さんそっくりで年月を感じた方も居りました。

在学中はピンとこなかった「同窓会」と言う言葉は、卒業後四十年を経て、今では懐かしさの代名詞と申しても過言では有りません。現在、本部の他に阪神支部と東京支部があり、それぞれ活動し交流を深めています。

総会・懇親会終了後、場所を隣の校舎中庭に場所を移して、「たそがれコンサート」(写真)は入り目影の中、聴衆は開演が迫るに連れ、次第に増えてゆき、石段が埋まった頃、オーブンド

た。「久しぶりやなあー」と同期生。中には親御さんそっくりで年月を感じた方も居りました。

在学中はピンとこなかった「同窓会」と言う言葉は、卒業後四十年を経て、今では懐かしさの代名詞と申しても過言では有りません。現在、本部の他に阪神支部と東京支部があり、それぞれ活動し交流を深めています。

総会・懇親会終了後、場所を隣の校舎中庭に場所を移して、「たそがれコンサート」(写真)は入り目影の中、聴衆は開演が迫るに連れ、次第に増えてゆき、石段が埋まった頃、オーブンド

た。「久しぶりやなあー」と同期生。中には親御さんそっくりで年月を感じた方も居りました。

在学中はピンとこなかった「同窓会」と言う言葉は、卒業後四十年を経て、今では懐かしさの代名詞と申しても過言では有りません。現在、本部の他に阪神支部と東京支部があり、それぞれ活動し交流を深めています。



投稿短歌

同窓会母校訪問

山本 登美子 (高十三回生)

カリヨンで校歌を鳴らし迎へらる 斬新進取は校風なりき
エレベーター冷房完備の母校なり 胸に去来す隔世の感
人となる日待ち学びし故郷の 山のみ変らずはや半世紀
暮れてゆく母校中庭コンサート 階段ベンチ埋まりゆきぬ
黄昏の野外後輩演奏会 手拍子ブラボー頑張れもあり
母校にて孫の世代に迎へられ 懐かし校歌を三度も聞きぬ
世代超えひとつの校歌に結ばれて 同窓総会盛会終了
バスで行く同窓総会世代超え 学年超ゆる血のようなもの

津名高時代

音高 詠菜 (高十六回生)

打ち上げる波のリズムを計りつつ ペダル踏み込む西浦の冬の朝手足凍えて漕ぐペダル 志筑の町へ汗だくで入(い)る
黒板に恋しいと書き「カナシイ」と 無理に読ませる 恩師の居たり
まだ少し席を同じくせぬような 空気を残す田舎でありき
荒(すさ)ぶ時飲むから冷はいかんと 冷を擁護の余談も聞きし
呑む時は肴も是非と教わった 田舎高校体育(たいく)の時間
作曲が誰かも知らず おおらかに 声張り上げて校歌歌えり
遙かの校歌の歴史調べると 誰も思えぬ生徒がおりき
我が校歌(うた)を 今に遺せし諸人(もろびと)の熱き思いの 有り難きかな
懐かしき文化祭誌に我が名追い あらためて知る薄き存在
各々が持ち場持ち場で おおになる達成感文化祭(まつり)でありき
熱心に古文教えて 才媛(せんせい)は 平安顔になりけるかも
男子(おのこ) ゆえ 多少照れる民謡を しっかり教わる秋のグラウンド
思い出の 苦手科目の先生は 何故かいずれも眉顰(しか)めいる
図書室の レコード鑑賞延々と 友は目顔で閉会を急(せ)く
帰校時は瀬戸内西へ 夕間暮れ 沈む太陽息詰めて見る
詠みあげた 高校時代を古希前に 飲むべし友と歌を肴に

季節の料理

新しょうがと牛肉の炒め煮

石田きさ代 (高13回生)

梅干しを漬ける頃には新しょうがも出回り始めます。梅酢に漬
け込むのもいいですがこの食べ方もお薦めです。作り方は簡単
です。

材料 (2〜3人前)

新しょうが 200〜250 g

牛肉 (こま切れても可) 100〜120 g

砂糖 大さじ3 しょうゆ 大さじ3 みりん 大さじ1

作り方

①水洗いした新しょうがを1〜2ミリの薄切りに食べよい大き
さに切る。

②鍋にサラダ油小さじ1を入れしょうがを炒める
しょうがに油がまわったら牛肉を入れ肉の色が白く変ったら
調味料を入れ味がなじんだら出来上り。

4、5日は日持ちし
ますが日が立つ程
しょうがのピリ辛が
強くなってきます。
好みですが、一兩日
に食べ切ってしまう
ほうがマイルドな舌
触りです。

平成26・27年度 兵庫県立津名高等学校同窓会阪神支部役員

顧問 筆谷 正 (3)、立花 和也 (5)

支部長 小久保 澄夫 (13)

副支部長 柴生 進 (10)、田中 種義 (13)、南 正光 (14)、中野 淑郎 (15)、
佐藤 正文 (15)、東田 雅俊 (16)、藤木 啓彰 (27)

会計 南 正光 (14)

会計監査 沖 正典 (9)、花野 正悦 (19)

幹事 中須賀 允彦 (4)、河合 春子 (5)、坂東 章好 (6)、坂東 洋治 (6)、
保宗 幸夫 (6)、尾崎 田鶴子 (6)、森多 貴美子 (6)、石原 富子 (6)、
中谷 博文 (7)、明角 清重 (7)、後藤 拓代 (8)、平岡 英忠 (9)、
道下 賀子 (10)、北野 佳代子 (13)、石上 勝美 (13)、石田 きさ代 (13)、
桜本 房子 (13)、桑名 賀代子 (14)、門 康彦 (15)、北川 映子 (15)、
上田 佐代子 (15)、☆松野 聡子 (15)、砂川 文孝 (15)、片平 雅文 (15)、
岩中 俊博 (16)、鈴鹿 鳳美 (16)、上田 敏晴 (16)、岡内 止 (16)、
中田 晴繁 (16)、正面 昇 (17)、☆潮崎 章二 (17)、柳谷 承示 (18)、
杉岡 実季子 (18)、吉川 泰久 (18)、森 章次 (18)、中尾 進 (18)、
高田 穂 (19)、田井地 力 (19)、村上 正雄 (20)、菅 数子 (20)、
木下 弘子 (21)、橋口 芳子 (21)、辻野由里子 (21)、梶島 賀敬 (21)、
柏木 豊彦 (22)、奥田 正博 (23)、池田 幸三 (23)、藤森 泰宏 (27)、
鍋谷 高広 (27)、奥野 豊 (27)、向田 憲司 (34)

() 内は卒回 ☆の2名は次期総会にて承認を求める予定

阪神支部会費納入のお願い
(年額 2,000 円、平成 27 年度分)

★郵便振替口座
口座番号 00980-7-184478
口座名義 兵庫県立津名高等学校同窓会阪神支部

★銀行振込ご利用の場合
銀行支店名 三井住友銀行池田支店
口座番号 普通預金 7169843
口座名義 兵庫県立津名高等学校同窓会阪神支部

津名高等学校同窓会阪神支部 平成26年6月30日
収 支 決 算 書
(平成24年7月1日から平成26年6月30日まで) (単位:円)

収入の部			支出の部		
科 目	金 額	備 考	科 目	金 額	備 考
前期繰越金	3,424,059	普通預金(三井住友) 2,561,447 ゆうちょ銀行 862,612	印刷費	1,439,460	同窓会新聞 17号 18号
会 費	1,219,000	通常会費	印刷費	113,100	タックラベル、コピー代他
会 費	651,000	総会参加者会費	総会費	594,460	本部・阪神支部総会(神戸東急インへ)
賛助広告費	860,000	同窓会新聞広告費	通信費	48,352	切手、葉書等
本部補助金	400,000		会議費	56,414	支部会、編集会議
預金利息	842	三井住友銀行	消耗品費	10,381	インク代、用紙代等
			支払手数料	3,661	同窓会新聞印刷代等支払い
			次期繰越金	4,289,073	普通預金(三井住友) 2,967,113 ゆうちょ銀行 1,321,960
合計	6,554,901		合計	6,554,901	

会計監査報告
会計監査の結果、諸帳簿ならびに証拠書類、通帳などは適正に処理されていることを確認いたしました。
平成26年7月13日 会計監査委員 沖 正典 ㊟
会計監査委員 花野 正悦 ㊟

編集後記

本紙が産声をあげたのは、二十年前にさかのぼる。あの震災の同窓生の安否を把握出来ないかが、本号の創刊に繋がった。爾来、年一回ではあるが会員の皆さんのご支援のおかげで今まで続けてこれました。編集委員の面々もあらゆる情報網を駆使して母校と会員の絆をより強く日々のとすべく日々精進しています。

さて今号は、その二十年前の記憶を振り返りよりよき未来への一石としての想いで企画です。本号に残念な事ですが、薄木会長のご逝去には悔やんでも悔やみきれません。後を追う様にこの一月に副支部長本部書記)の五熊昭一さん(高十三回)も逝去されました。両御霊に合掌。

高14回生 同窓会のご案内

日 時:平成28年6月6日 12時〜

場 所:神戸舞子ヴィラ (JR・山陽電鉄 舞子駅)

会 費:1万円 (二次会含む)

幹 事:沖田友信 TEL.072-723-4831

事務局:南 正光 TEL.072-753-1458

生田村そばカフェ便り

春に開催された淡路花博も終わり、ここ生田村そばカフェも少し落ち着いてきました。津名高校OBの皆様もたくさんお越しいただきました。昨秋のそばは、味も上々、収穫も多かったのをお客様には大変好評です。是非、心の故郷 田舎のそば屋「そばカフェ生田村」へのお越しをお待ち申し上げます。

吉川 泰久 (高十八回生)
〒630-8301 奈良市高畑福井町一三七〇
TEL 〇七四二一三二一六五四一

東田 雅俊 (高十六回生)
十七回生 サッカー部一同
川添 茂弘・潮崎 章二
正面 昇・中尾 清人

井田 和 美 (高十五回生)

松野 聡子 (高十五回生)

税理士 花野 正悦 (高十九回生)
〒652-0801 神戸市兵庫区塚本通七十一一四
TEL 〇七八一五七八二五三三
FAX 〇七八一五七七一三二一八

FJK法律事務所 弁護士 藤木 啓彰 (高二十七回生)
事務所 〒550-0041 大阪市中央区北浜三丁目一十一番一
TEL 〇六六二二六二六六六
FAX 〇六六二二六二六六六
E-mail info@fjk-law.com
http://www.fjk-law.com

故薄木昌信前同窓会長を 偲ぶ会を開催

宮岡 郁雄
(高七回生)

昨年十月二十五日(土)前薄木昌信同窓会長が不慮の急逝(犬鳴山・燈明ヶ岳で滑落)であわだちく葬送の式典の終了後、参列者有志で、偲ぶ会開催の話がまとまった。

年末年始を控え、年が明けてなるべく早い内にということである三月十日(火)、彼の縁の深い津名高校・エンジ同窓会館で開催した。

同期生四十名と同窓会本部事務局



(6)閉会挨拶
(7)記念撮影
二次会
場所・日時
津名ハイッ 同
十二時半～十五時半

内容
一次会の雰囲気を変え、場所を変えて食事しながら終始和やかに、一次会の補足、一人一人の印象深い思い出を発表した。

寸評
一次会
○新設母校・とりわけ初めに目にするエンジ会館を利用することが出来たこと・新鮮・清潔・(霧間気)に新築の我がふるさと(生家)に帰った心地

○突然の逝去であつたので、その経緯を知ることが出来たこと・有志代表による偲ぶ言葉に生前の彼の人となりにより鮮明に浮かんだこと

○ご来賓として同席された同窓会本部での活躍ぶりや裏話を脇先生(高二十七回生・本部事務局)より心情のこもったお言葉で大変感動した

二次会
○みんな一言づつ(中には延々と語る者あり)想い出話

の発表に花が咲き、一番若々しく元気で、百周年(八十二歳)まで元気で頑張ろうと云っていた彼はもういない。船長の居ない船だ。みんなで力を合わせて、目的地を目指そう。

かつても、いつか難題が起これば、薄木弁護士が居ると言う安心感の保障役でもあった彼に、今一度感謝し、ご冥福をお祈りしよう!!合掌」と閉会の言葉で散会した。

附記 このことについての詳細内容を奥様を通してご仏前に報告をすませました。

今日は、思いっきり!高校生!

古稀を祝う十五回生同窓会

北川 映子
(高十五回生)



えっ、古稀の会?? まさか自分が古稀の歳とは! 案内状を手にして驚く同級生が多かった。まだまだ元気で若く、現役組には負けてはいないつもり。突っ返したい思いと五十年ぶりの再会を楽しみに、平成二十六年十月二十五日(土)、七十一名の同窓生が三宮の神戸東急インに集まった。

まず、集合記念写真撮影だ。ところが五名が未到着。それぞれに携帯で連絡を取ると、「忘れたのか!えらいこっちゃ、今す

ぐ用意して行く!」とか「明日と思込んで、今、美容院に行くところ。」「介護している家族の体調が良いので、顔出しだけで、皆に合いたいから。」「場所が分からず手間取って」等、期せず年齢相応の一面を暴露することに。その理由に何故か皆、ニコニコ顔。なぜならどれも自分思い当たることばかりだから。いよいよ古稀の会の開会。ここか

らは、年齢を忘れて思いっきり!高校生に! 残念ながら他界された二十六名に黙祷を捧げた後、出席している同窓生の紹介。一人ひとりの名前が読み上げられ、当時の数倍も元気な返事が響き渡り、全員見事にタイムスリップ成功。乾杯に続いて高校時代の秘蔵写真が、スクリーンに映し出された。江井水泳訓練の若き恩師・文化祭や体育祭の準備風景、喫煙中の部活・弁論大会・修学旅行・オートバイを運転・エルビスプレスリーもどき・卒業寸前・社会人になりたての姿など。時間が迫り六十年程前の淡路島の生活を物語る写真は割愛し、十五回生が最近に行った北陸旅行の動画を映写。懐かしい顔が映される度に、感嘆や笑いが起こり、この機会が無ければ記憶の深淵の底に永眠していたであろう青き日の友のあの笑顔・あの姿がありありと蘇る。

次は、友の弾くバイオリンの曲(CD)が流れる中、自由歓談。舞台上

はフリートークが次々とさく裂。フロアでは、紫の頭巾とちやんちゃんこを着回して仲良しの二人でスナック写真に納まったり、幼名が飛び交ったり、あちこちで歓声や拍手が起こったりして、欠席者や物故者まで一緒にいるように思えるにぎやかさだ。最後は、全員で高校三年生の歌と校歌を斉唱し、一本締めで会を開めた。

一次会では到底語り尽くせず、ほとんどが二次会。ゲームで錦織圭が愛用のシャツや本が景品に出されるなど益々盛り上がり、開会当初は「僕は四人しか分かってん」と嘆いていた友人も、たくさん旧友と打ち解けて絶好調だった。古稀を迎えた今、青春と人生の荒波を共に生き、思い出を共有する同窓生は元気の源であり貴重な宝物。珠玉の楽しい時を胸に帰路に着いた。



求む投稿!

当支部では会員の皆さまの同窓会の開催の報告・案内・小説・詩・旅行記・自叙伝などジャンルは問いませんので、編集部まで原稿をお送りください。

阪神支部

そばカフエ生田村

北淡インター山側開き口案内看板あり
TEL 〇七九七〇一四七八
URL: http://akutanura.web.fc2.com/
営業日 土日・祝

医療法人社団 高山会 高山クリニック
理事長 中山 義晴

卒業生十三名在職
〒656-2132 淡路市志筑新島六二三七
TEL 〇七九六二二一三六六

薄木昌信様のご逝去を お悔やみ申し上げます

十三回生
石上勝美

薄木昌信様のご逝去を お悔やみ申し上げます

十五回生
有志一同

大切な人のもしものときに

(株)片山葬祭

片山 悟 (高二十九回生)

片山 隆太 (高五十六回生)

〒656-1001 淡路市黒谷一四八二番地
TEL 〇七九九 八四一三三三
FAX 〇七九九 八四一八三三